こんにちは、
日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 5371-9164 自宅 5（FAX 兼用）６９１－３３２３
日本共産党京都市会議員団 ５２２２－３７２８ FAX 211-2130 '17年３月12日号
市会議員団ホームページ http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/ E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp

「お金がない」の一方で、このムダづかい!?

市長の「財政危機」論を斬る

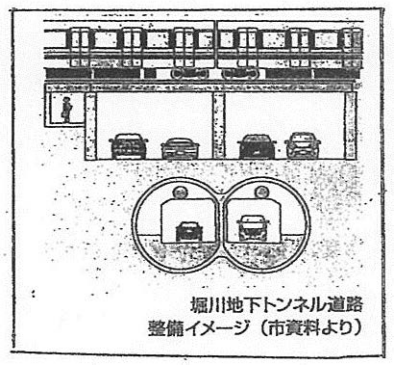
このニュースの先々週号で、市の財政につき、「①政府の大企業減税等への批判抜きに、また②市自身も大型事業のムダづかい撤回抜きに、市長が『財政危機』を強調するのは、市民サービス後退への口実」と書きました。今回は②の問題の一端について紹介します。

※　※

●市長は、「堀川通りの東海道本線ガード付近の渋滞」を口実に、堀川五条から油小路十条まで、地下トンネルの実現を国に要望しています。かつて計画されていた、同じ路線の高速道路堀川線は撤回が決まっていますが、この幽霊が復活したもので、全くうり二つの代物です。高速道路では、総事業費千二百億円と言われていました。国の仕事だとしても、１／３は市の負担となります（左のさし絵はイメージ図）。

●油小路八条交差点を渡るのに、市長はよほど地下が好きなのか、地下横断歩道を掘りたいとも言っています。

※これらは、渋滞を口実に車優先のまちを造ろうとする発想で、これからの時代は車抑制、公共交通優先の社会を



と、市自身が「歩くまち」とも逆行していることです。

●山陰本線・七条通り交差部にJRが駅を建設中ですが、市は、横の引込線を、七条通りを渡る横断歩道橋に改造しようとしています。七条通り北側の中央市場の一角に、ホテルや大型商業施設（賑わい施設）を誘致し、ここへ誘導しようとするためです。この歩道橋に５億２千万円かかります（図下）。

●鴨川の東側の川端通り（鴨東線）＝師団街道の塩小路通りから九条通り付近までの道路を拡幅しようと、市長はすでに、民間会社に設計を依頼中です。すぐ東側には疎水も流↙

３月２日、南区社会保障推進協議会主催、「どうする介護保険、どうなる？京都市の『総合事業』」と題して学習会が開かれました。介護福祉士の谷口賢治さんが講演されました。

京都市は、この４月から、要支援の人たちのヘルパーさん派遣とデイサービスを保険給付から除外し、「総合事業」と称して、専門的でない人たちの簡単な応援でお茶を濁そうとしています。サービスの水準が引き下げられて大変です。ヘルパー派遣やデイサービス事業所も大幅収入減でこれまた大変です。

被保険者の皆さんは、「私は従来相当のサービスを受けたい」と強く主張しましょう。またチェックリストだけで判断されようとする場合、「要介護認定を受けたい」と要求しましょう。

↙れ、また予定区間には、東海道本線、同新幹線、奈良線の３本もの鉄橋がまたいでいます（上の写真は塩小路通りから南方向）。着工されれば莫大なお金がかかるでしょう。

南区文化芸能フェスティバル

２月26日、アバンティにて、鑑賞させて頂きました。南区ふれあい事業実行委員会主催。